

高浜原発

町議会再稼働請願を採択

40年超運転

25日に同意判断報告

原則四十年の運転期間を
超えた関西電力高浜原発
1、2号機の再稼働を巡
り、立地する高浜町議会は
十二日、臨時本会議で、再
稼働を求める請願と陳情計
三件をいずれも賛成多数で
採択した。これを受け、町
議会は二十五日の議会全員
協議会で同意可否について
意見集約し、議会の意向を
野瀬豊町長に報告する。

再稼働を求める請願は、
県内の市民団体などが提出
した。賛成議員は「町の経
済振興や雇用確保のために
再稼働は必要」などと主張
した。一方で再稼働反対や
同意判断に熟議を求める請
願四件は不採択とした。

再稼働には町と県の各議
会と首長の同意を取り付け
るのが通例。町議会が同意
した場合、次は野瀬町長の
判断となる。臨時会では、原
発の安全管理の徹底や廃炉
後も見据えた地域振興策の
充実など七項目を国に要望
する意見書案を可決。上尾
徳郎議長らが来週中にも、
経済産業省など関係機関に
届ける。原発の運転期間は
福島第一原発事故後、原子
炉等規制法で「原則四十年
間」と定められたが、原子
力規制委員会が認めれば最
長二十年間延長できる。高
浜1、2号機は二〇一六
(平成二十八)年に認可を
受け、1号機は安全対策工
事が完了した。関電は来年
三月に再稼働させる計画を
立てている。2号機は安全
対策工事中で、来年四月の
完了を見込む。(鈴木隆一)